

第1章 祭壇と道具

ミサはキリスト者の信仰生活の中心です。そして宗教的養成と教育の中心となるのもミサ聖祭です。

すべてのプログラムを展開させていくにつれて、すべての要素はミサに集約されていることがわかります。したがってミサは幼児時代から教えはじめるべきと思われます。

幼児への教えの方法は次の二つがあります。

- (1) 最後の晩さんの話を通して。
- (2) 適度に身近かにある物を通して。

初聖体準備までの年齢を考慮してカリキュラムを組むために身近かにある物を通してはじめます。

教会へ来て、礼拝堂へ入ると、目に入るものは十字架、ローソク、祭壇等です。すなわちミサのため使われる道具を通して理解される方法を大人は過少評価するべきでないと思います。

見て、触れておぼえていきます。そして名前をおぼえ、使いかたをおぼえることによって親しみを感じていきます。やがてそれらの名前の特別な意味の深さにふれていくのです。おそらくそれらの物は宗教的祈りの糸口へと向けられることになるでしょう。

これらの物は子どもに畏敬の念をおこさせ、賛美の祈りへと向わせる糸口となることでしょう。そして私たちよりも、もっと偉大なものの前に自分たちがいるという思いを強く感じるようになることでしょう。

私たちはこのような方法を通して祈りの糸口をつくり、完全な祈りの形であるミサへ導くことが出来れば本当ににすばらしいと思います。

- 教材
- カード絵 6枚
 - カード説明文 6枚
 - ポスター 6つの絵 1枚

道具を並べながら説明文は尊敬の念をもった声で読みます。

●教えの要点

テーブルを囲んで食事をします。

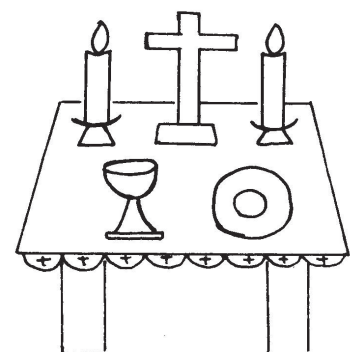
テーブルの上にあるものは大切な道具として使われます。

キリストと弟子たちの食事。

キリストと使徒たちの食事、最後の晩さん。

神との対話の場、祈りの場所。

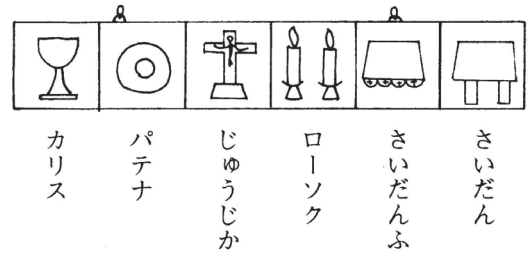
祭壇の模型



●教材の使用（親、教師）

模型の祭だんで教え、説明した後に絵のカードの名前を読みながら、幼児にわたす。それから教師は「カリスのカードを下さい」と求める。受けとったカードを更に「これはなんですか」と質問する。幼児は「パテナ・・・」です、正しい答えを待つ。

ポスター（親・教師用）・壁かけ



●作業

- (1) 模型の祭だんの上に教師がしたように道具を置く。
- (2) カードの絵をうつし書かせる。

カードの説明文を書く（初聖体）

●応用・・・切り抜き、張り絵、ぬり絵、縫いとり祭だん等。

●ねらい

ミサに必要な道具の名前をおぼえる。畏敬の念、祈りの糸口へと導びく。

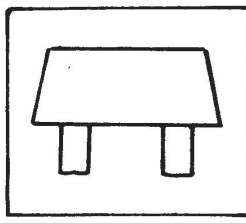
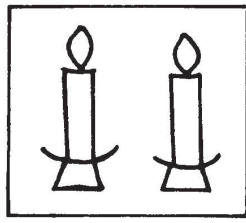
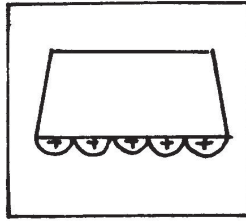
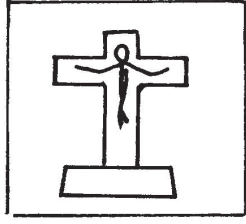
説明文

初聖体（14cm×14cm）

絵（名前はどうらに書く）

3歳用（20cm×20cm）

初聖体（14cm×14cm）

<p>祭だん イエズスさま がこられると ころです。</p>	<p>ローソク 二本の火のつ いたもの。祭 だんの上にイ エズスさまが こられます。</p>		
<p>祭だん布 白い布を敷き、 王であるキリ ストが祭だん の上に来られ ます。</p>	<p>十字架 パテナ、カリ スの前にイエ ズ・キリス トの姿があり ます。</p>		
<p>カリス 特別なコップ です。</p>	<p>パテナ 特別なお皿で す。</p>	